

プーリの種類と構造

製品概要

ベルトコンベヤプーリ（以下、プーリ）は、下図に示すように、ベルトコンベヤの主要箇所配置されます。万一、その1つでも破損した場合には、コンベヤの停止につながり、設備全体がストップしてしまう可能性もあります。



また、ベルトの張力や巻付けなどの影響を大きく受ける過酷な条件下で使用されるため、しっかりとした設計に基づく各部材の選定と、製造における高い技量が必要とされます。

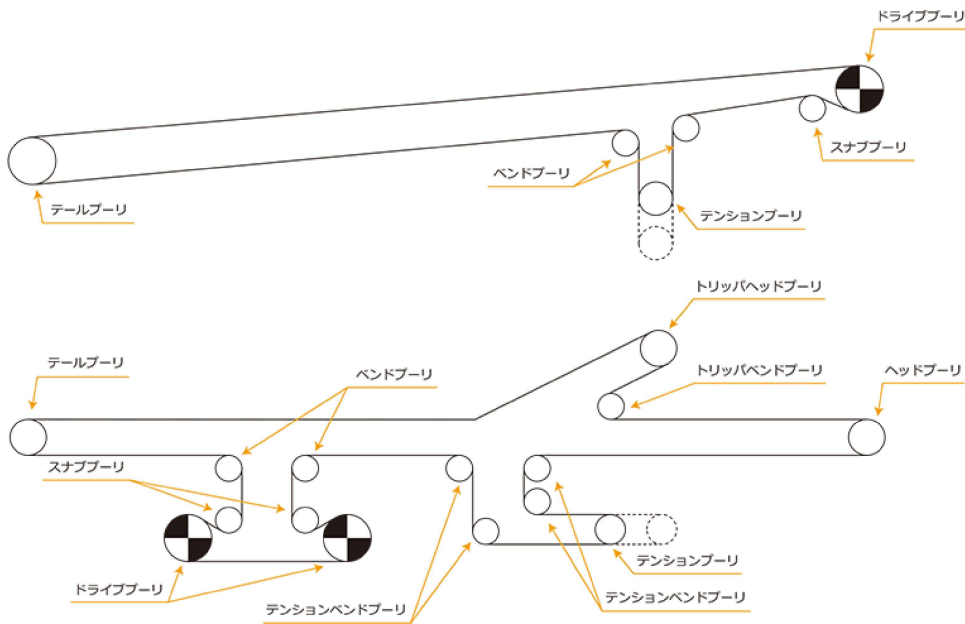
JRCは独自の設計基準に基づく強度計算を徹底し、適正な部材を選定の上、専門工場にて一貫生産を行い、安全で信頼性の高いプーリをご提供しています。

ベルトコンベヤにおけるプーリの配置例

プーリは主にベルトコンベヤを駆動させる「ドライブプーリ」、プーリに対するベルトの巻付け角を増加させる「スナプーリ」、コンベヤの尾部にある「テールプーリ」、ベルトを引っ張る「テンションプーリ」、ベルトの進行方向を変える「バンドプーリ」などがあります。下記の他にも、コンベヤの形状・用途により、様々な種類のプーリがあります。

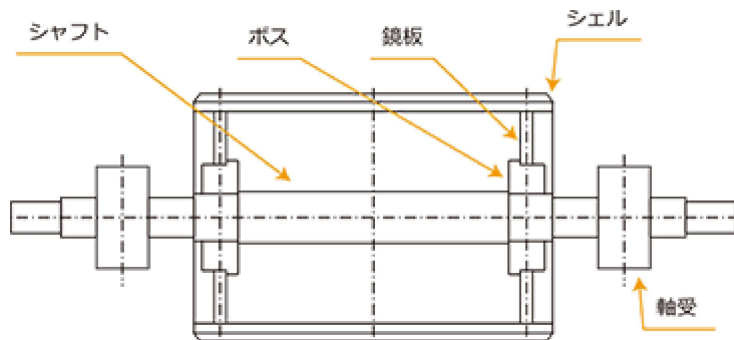
製品情報

[アイドラ](#)[ローラ](#)[軽量型アイドラ・ローラ](#)[プーリ](#)[プーリの種類と構造](#)[JRCのプーリの設計思想](#)[部材の形状](#)[製作手順の一例・製作可能範囲](#)[特殊プーリ実績品紹介](#)[コンベヤ周辺機器](#)[特殊品・実績品](#)



プーリの構造および各部名称

プーリの構造は通常、下図のように、ベルトに接する外輪（シェル）と、それを両サイドで支える側板（鏡板）、プーリの中心を通る軸（シャフト）と、この両者をつなぐボスで構成されます。[（ ）内はJRCでの呼称]JRCでは、このボスとシャフトを「ヤキバメ（シマリバメ）」にて固定し、ドライブプーリなどトルクのかかるプーリのシャフトに関しては「キー」も併用しております。



お気軽にお問い合わせください

お急ぎの場合

営業拠点、下記までお電話で

TEL **06-6543-8018**

(受付時間 平日9:00~18:00)

FAX **06-6543-8681**

メールの場合

メールフォームからでも
迅速に対応いたします

[お問い合わせ](#)

ベルトコンベヤを理想の運用状態に導く
JRCのトータルソリューション



生産性向上



コスト削減



効率性向上



事故防止



長寿命化



[詳しくはこちら](#)